

いきいきライフをがっちりサポート!

バランスαニュース

高橋剛商会

第10号

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨2-5-12 5F
TEL.03-3576-5811 FAX.03-3576-5815
フリーダイヤルお客様センター-0120-76-5812

『バランスαニュース』は、ユーザーの皆様と、販売者、メーカーを結ぶ情報交換誌です。

「米作り歳時記」もスタートし・・・、米ばかりに焦点が、あたっていますが、玄米だけでは強力な抗酸化力を持つ「バランスα」は出来ないのです。今回は、「バランスα」パワーの源の一つである「びわ」に焦点をあててみました。

「バランスα」もう一つの主演

■ ビワ(枇杷)

バラ科の植物で、アンズ、モモ、リンゴ、ナシ、サクランボなどの仲間です。日本では千葉県以西、太平洋側の温暖な地域に分布し一年中その葉に緑を蓄える非常に生命力旺盛な植物です。

お釈迦様の時代から「びわ」には優れた薬効があることは知られていました。一家に1本びわの木を植えておけば内臓の病気がち怪我まで治してくれると言われており、民間薬として健胃・消炎・下痢止め・利尿・鎮咳・去痰・清涼剤・皮膚炎・あせもなどに用いられてきました。

■ バランスαの原材料に選ばれた!

「びわ」はそのまま数年間放置しても、再び発芽できる環境を与えると芽を出します。それだけ強力に自らを酸化の危険から守りぬく力を持っているということが「バランスα」の原材料に選ばれた理由なのです。

■ 有用微生物群が「びわ」の驚愕すべきパワーを引き出した!

ただし、健康食品すべてに言えることですが、活躍してほしいのは体内の細胞ですから吸収されなければ話になりません。そこで、このびわの種と葉を細かく砕いて玄米とともに有用微生物群で発酵させた原材料を用い、じっくり時間をかけて有効成分を抽出しました。有用微生物群で発酵させることで、より機能的、効果的にビワ本来の豊富な生命力をあまり損取することができるようになったのです。

■ 老化防止、消炎作用のびわ葉

びわ葉は、良質な有機酸とアミグダリンの宝庫といえます。良質の有機酸は、消化酵素ペプシンの働きを助け、タンパク質の分解を促進し、胃腸の消化・吸収機能を向上させます。吸収された有機酸は体内でアルカリ性に働き、筋肉の緊張をやわらげ、血液の循環を向上、疲労回復、老化防止に役立ちます。

びわ葉に多く含まれているアミグダリン(話題になっているビタミンB17のことです)は、抗ガン消炎作用のほか、腰痛・神経痛・健胃整腸作用・利尿などに効果があるといわれています。このアミグダリンは玄米にも含まれていますが、びわ葉に多く含まれ、びわ種にはさらに多く(葉の約1300倍)含まれています。さらに、びわの葉には解毒作用のあるタンニンや、コレステロールを洗い流し、血液をサラサラにするサポニン、疲労回復に効果的なビタミンBが含まれています。

■ 有機酸って何?

レモンや梅の酸っぱい成分、これが有機酸です。有機酸は果実など自然界に存在し、古くから食品の酸味調整、品質保持、酸化防止剤として利用されてきました。また、最近では有機酸の代表であるクエン酸が様々なメディアで取り上げられ、疲労回復、体質改善など、私たちの健康維持にも欠かせないものである事が認識されてきています。びわ葉にはクエン酸、リンゴ酸、酒石酸など多種にわたる良質な有機酸が含まれているのです。

■ 話題のアミグダリンって何?

驚異の物質アミグダリン(別名:ビタミンB17、レートリス)。アミグダリンは体内の汚れた血液をきれいな弱アルカリ性の血液に浄化してくれます。特に「痛み」に対して優れた即効性を持ち、末期がんの激しい痛みさえも止めると言われています。体内の汚れた血液が浄化されるということは、新陳代謝が活性化され、免疫力や自然治癒力が強化される事につながるのです。

■ ビタミンB17療法

1950年、米国サンフランシスコの生化学者、アーネスト・クレブス博士はアンズの種子(杏仁)からアミグダリンを抽出し結晶化して「レートリス」と名付け、ガンの治療に使用しました。この治療法は「ビタミンB17療法」あるいは「レートリル療法」と呼ばれています。クレブス博士は、食生活の偏りによるアミグダリンの欠如が代謝活動に異常をもたらした、これが免疫力・抗菌力の低下につながり、ガンだけでなく心臓病・糖尿病など生活習慣病の原因になると指摘しています。

■ 世界の健康長寿村の秘密は、アミグダリン!

インドと中国に囲まれたヒマラヤ山脈の麓に「フンザ」という村があります(旧フンザ王国)。この村の人たちは、驚くほど長寿で、「ガンのない村」としても知られています。百歳以上は普通、二百歳以上でしかも現役という長寿者が何人もいます。

各国の医学調査団が、フンザの人の食生活を調べたところ、その秘密は彼らが常食にしている杏仁に含まれている成分「アミグダリン」にあることをつきとめました。

びわ



実は毒性物質・・・?!

ここで皆様聞いていただきたいのは「毒性」のお話。ビタミンB17は、通常アミグダリンとして存在しているときは不活性で毒性はありません。しかし、これが体内に入ると酵素により、毒性をもった成分に分解されます。とはいえ、正常な細胞には保護酵素があり、毒性をもった成分は保護酵素によって無害化されているのです(よくできていますよね)。ところが、ガン細胞というものは、この保護酵素がないため毒性成分が直撃し、ガン細胞を死滅させる(1)、ということのようです。

※「アミグダリンが殺すメカニズム」
アミグダリンが体内に入ると、ガン細胞の中に多量に含まれているベータ-グルコシターゼという特殊酵素によって加水分解され、青酸とベンツアルデヒドとが遊離します。ガン細胞はこの二つの物質の相乗毒害により破壊されてしまうのですが、正常細胞にはロータネーゼという保護酵素があって両物質を無害な物質に変えてくれるため影響を受けません。顕微鏡で見ると、ガン細胞がまるで殺虫剤をかけられたように死んでいくそうです。
また、アミグダリンが分解されてできる安息香酸は、「抗リウマチ」「鎮痛」「鎮痛」に効果を発揮するそうです。中でも鎮痛作用は絶大で、末期がんの痛みをやわらげたり、神経痛や捻挫の痛みなどに効果を上げています。

「ビワの種で肝機能改善」

高知医大病院グループ解明

果物のビワの種から抽出したエキスに肝細胞の硬化(線維化)を防ぐ強い働きがあることが、高知医大付属病院薬剤部の「細胞の線維化メカニズムに関する研究グループ」(代表=西岡豊教授・薬剤部長)の研究で分かった。線維化を促進する活性酸素を抑える効果があるため、エキスを投与した動物実験では1週間で肝機能が改善された。肝細胞の線維化は肝硬変や肝癌を引き起こす原因の一つといわれ、臨床研究での成果が期待される。西岡教授はこれらの成果を6日に高知市で開かれる「日本機能性食品医学会」の発足記念講演会で報告する。

西岡教授によると、ビワの種を使った研究は7、8年前から開始。種を丸ごと乾燥させてつぶし、アルコールなどでエキスを取り出した。エキスを遠心分離した結果、コレステロール溶解作用を持つリノール酸やリルン酸、高脂血症の改善作用がある7-システロールなどの成分を確認した。また、薄めたエキスに試薬を入れて分析したところ、活性酸素を抑制する強い「抗酸化作用」も見られた。人為的に肝機能障害を起こさせたラットにエキスを投与する実験では、肝臓の指標になる血中のAST(旧称GOT)値やALT(旧GPT)値、肝細胞の変化(肝線維化率)を分析。一週間後、エキスを投与したラットは非投与ラットに比べ、AST値が4.8%、ALT値で39%それぞれ改善し、肝線維化率も半減していることが分かった。西岡教授によると、ビワの種のエキスはアルコール性肝障害の治療などにも有効。効果は弱いですが、高脂血症の予防や治療への効果も確認されているという。(2002年12月05日 高知新聞より)

【専門医からのメッセージ】

実際に「バランスα」を独自のガン治療に併用し、注目を浴びている
小澤医院(愛知県碧南市)・小澤博樹院長

「バランスα」を陰陽論からみてみると、「バランスα」の持つ抗酸化物質は人体の酸化の原因となる活性酸素やフリーラジカルを消去する能力に優れています。活性酸素やフリーラジカルは極陰性な物質であるため、この極陰性な物質を消去してしまうとバランスαの性質は現代であるといえます。陽性でなければ陰性を消すことはできません。

現代人の多くは陰性体質になっているために、ガンという陰性な病気やその他の陰性病が多いのです。従って陽性のバランスαを陰性病の多い日本人に投与すれば、その症状は改善されるのは当然のことなのです。

即効的な抗酸化力がある「バランスα」がガンなどの進行性の病気治療に適しているのは陰陽論からみても理にかなっています。

プロスボ=ツギ空!

リッゲの強豪「ジュピロ磐田」が「バランスα」に着目したのは、選手たちの疲労回復が早まりパワーアップしたほか、擦過傷や打ち身にバランスαを浸したガーゼで湿布したところ、それまで使用していた薬と比較して倍以上の早さで回復したことがきっかけでした。

「バランスα」は平成17年の9月よりジュピロ磐田の選手たちにも使われていき、巻頭の言葉を頂いております!

バランスαはジュピロ磐田を応援しています!

購入する前に「バランスα」の無料サンプルを試したい貴女へ!

ユーザー様のまわりに、「健康」「老化」「美容」にお悩みの方はいらっしゃいませんか? 「バランスα」が無料でお試しいていただくことを教えてください。

高橋剛商会では、「バランスα」のユーザー様からご紹介された方や、販売店等のチラシで「バランスα」に興味を持たれた方など、毎月20名様に、「バランスα」のサンプルと資料を無料進呈させて頂きます。下記要領で、試されたいご本人様からお申込みください。

《「バランスα」無料サンプル申込要領》

1. 期間/8月1日、午前9時より受け付け開始、定員になり次第締め切り
2. 申込者/試してみたい方ご本人
3. 申込方法/無料フリーダイヤルへ、FAX(0120-76-5812)
4. 必要記載内容/ご本人様の氏名・住所・電話番号

*無料サンプルは1人でも多くの方へ試して頂くためにお1人様1回限りとさせていただきます。

稲妻の話

まただちちええカキの頃のことで、お袋に手引かれて家に帰る日暮れ時分に、雷に叩かれて、稲光の音のすさまじい、オレは怖さのあまり、お袋にしがみついた。お袋は「大丈夫、大丈夫、お袋がおれの背中をさすりながら、怖くねえ、怖くねえよ。稲妻は田んぼの稲が、光をくら生まれてくる子供たちのために、光をくらさい、と天にお願いしていたんだもん。怖いわねえと教えてくれた。大昔から、稲妻稲天は、稲の受精に不可欠なものと考えられていて、雷の多い年は豊作だ、と言いつづけてきたもんだ。オレもこれまでも信じてきた。

「先生あんなの言いつことは、科学的には正しいかもしれないが、ロジックがねえ。米作ってるもんには、そんな話より、昔お袋から聞いた言い伝えのほうが、よっぽど腹に落ちる。」
「つまり、俺たちの仕事は大昔からえんえんと続け果てしない物語のイメージだとして感じる」のところが、仕事に精がでてるものなんだ。

高橋剛は語る

第二回
名人が明かした米作りと大自然のロマン



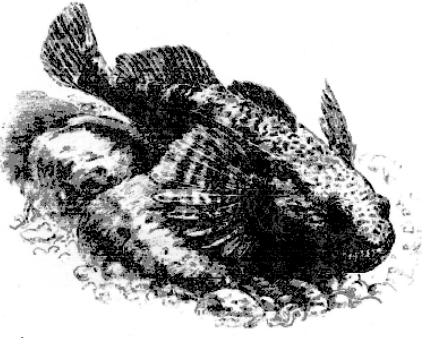
高橋剛/昭和21年、真室川町生まれ。昭和60年から3年連続して山形県良質米多収穫共励会で最優秀賞を受賞。昭和63年には、化学肥料や農業を用いた農業と決別し、徹底した有機栽培に転じる。以降、一貫して自然農法による米作りを実践。技術指導は国内に止まらず、ロシア、オーストラリア、中国、フィリピンに及ぶ。

「JAS認証だったって、それを検査する役人さんたちは、書類しかチェックできない。でもオレは田んぼに行くと稲見れば、農業や化学肥料使ってるかどうか、すぐわかる。またオレが自然農法の組合始めて間もないころだが、組合員のあるやつが、除草剤を使ってた。そいつはオレにはねえと思っただけで、オレはやつらの田んぼに行くと稲の葉を見て、大体何月何日に撒いたかもわかったね。それで見集まりの後、そいつだけ呼んで、自分から組合を脱退しろ、と言いつづけた。ええ、何が判断のポイントかって、葉っぱだよ。稲は葉が枯れたら苦しいから、その時成長が微妙に変化する。それが葉脈の乱れになって現れるんだ。葉脈が乱れてくるのを見れば、成長具合からみて、何月何日に葉撒いたか、ってのは概ねわかってるよ。」

農業や化学肥料使ってるかどうか、稲見れば一発でわかる

カジカで 天気を知る

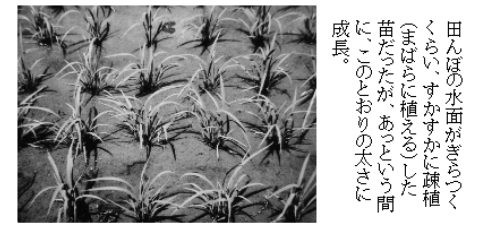
米作りでは、先の天気が読めなくちゃならねえ。おれは明日あさっての天気知りたかったら、川に行つて底のカジカを掬い上げて、口の中をのぞくんだ。カジカは雨が近いと流されちゃ困るから、口に小さな石を呑んでおくんだ。だから口の中に石があれば、雨が近いとはすくわかる。



カジカ/北海道以外の日本全国で見られるも生息環境は限られる。水量が豊かな清流を好み、平瀬の石の下などに潜む。成魚は最大で10センチ。

高橋剛の 米作り歳時記・3

疎植は成長期に光が十分あたり、太い株に育つ。そして同時に一番病害虫のつきやすい時期に過密な空間(病害虫が守られやすい)を作らない。



田んぼの水面がきらつくくらい、すかさず疎植(まはらに植える)した苗をたがが、あつたつ間、このとおりの大さく成長。

みるみるがっしりした株を育て上げている。

あの伝説の高橋米、今秋の新米より数量限定で販売予定!

"一度頂いたあのお米の味が忘れられないのですが・・・"、"高橋さんの玄米を売っていただけませんか?" 弊社創業から1年半の間、このような問い合わせを何百回もいただいております。その度に、「申し訳ありません。今、高橋の米は小売していないんですよ」とお断りするときの心苦しさ・・・。今秋からは、このような思いから開放されそうです。高橋剛と仲間たちが、小売用に最上級米の一部を提供してくれることになりました。今年の新米から数量限定で「バランスαニュース」をご覧の方にご提供させていただきます。申し込み方法は第11号(8月末日発行)でお伝えします。

「バランスα」の生産地・山形の風土記[1] 月山 がっさん

「雲の峰いくつ崩れて月の山」松尾芭蕉

月山(1998m)は、西に湯殿山、北に羽黒山を従えた出羽三山の主峰であり、山頂には月山神社が奉られ、古くから山岳信仰の山として知られています。四季を通じて白銀を抱き、静かに横たわる美しい姿は、山そのものが神とされ、773年の古文書にはすでに「月山(ツキヤマ)神」という名で登場しています。かつては八方七口と言われる四方八方からの7つの険しい登山道があり、白装束を身にまとった参拝者が山頂へと向かいました。現在は車で7合目まで行けるルートもあり、観光、参拝、登山、トッキング、溪流釣り、温泉など四季折々の楽しみを満喫できます。月山名物の「夏スキー」は、他のスキー場が閉鎖される4月上旬から7月末まで滑走可能で、その雄大なスケールが多くファンを魅了しています。ただし、冬は厳しく除雪した車道の両側に高さ数メートルに及ぶ雪の壁ができ、吹雪の日には通行止めになることも。訪れる目的は違っても、誰もが心を洗われるような感慨を抱くのは、霊峰月山たるゆえんでないでしょうか。



出羽三山を仰ぐ月山湖(寒河江ダム)では、「月・月山・ブナ林・水」をシンボルテーマに自然と科学の融合を表現する112mの大噴水をモニュメントとして打ち上げている。



「奥の細道」の旅で松尾芭蕉が訪れた最も高い山は月山だった



月山スキー場開きのポスター

■「ユーザーコーナー」にお便りをお待ちしています。質問、要望、体験談、健康に関すること、そうでないこと、何でもかまいません。皆様からのお便りをお待ちしております。なお、「高橋剛商会」では、「バランスα」の製造元(日本抗酸化飲料(株))より委託を受けて、同社の公式ホームページを管理しております。下記のURLから、「バランスα」の製造工程や工場の製造スタッフの素顔など、ありのままの「バランスα」がごらんになります。【ホームページのURL】 <http://www4.ocn.ne.jp/~balance1/> *「月華波動バランスα」は弊社製品ではありません!

・・・つぶやき

父の日に、元妻と子供たちで焼肉屋へ行った。いつか話題は「まだ若かった頃のお父さん」の話になり、そうなると思議なことに、子供たちははげられ思い出ばかりが飛び出して、元妻も彼らの話を補強して追い打ちをかけた。父の日なのに自身の懐い思いをするはめになった。始末の悪いことに、子供たちが語る、「つらい思い出」のシーンを私はほとんど完全に忘れていた。このままだと父は暴君だったという有難くないイメージが定着しようになったので、あわてて色々なとこに遊びに連れて行った話や、美味しいものを作って食べさせた話や、特に下の娘には、アビーの除去食を毎日朝早く起きて作って持たせた話などをしてみたが、今度は子供たちのほうが、ほとんど覚えていないのだった。極めて盛り上がった食事が終わって、会計に立つと、焼肉屋のおばさんが、「こんなに楽しそうに話をする家族は、最近見たことがない、仲の良い家族で幸せですねと言った。彼らは、別の自宅に帰る私としては、ちょっと切ない言葉だった。

平城匡史